

一 解決

三月一日午前十時ヨリ残務整理事務所ニ於テ岩傷者側白井  
 新年、伊藤満老ハ事業主側吉田東太郎外一名ト會見折衝シ岩傷  
 者側ヨリハ更ニ日下部盛吉交渉ニ参加種々議論アリタルモ結局妥協  
 成立シ午後十一時三十分別記費書ヲ交換解決セリ

追而費書中ノ金一封ハ金六百円ナリ

右及申(通)報候也

(別記)

書

一 全日本元硝子會社會社株券傷者 本日同滿解任申ルルハ以テ左條件ノ承認シ本書或通  
 之件數調印ノ上各名通テ所持スルモノトス

一 新規ニ場ニ可成三月以内ニ設置シ本元硝子ニ場ヲ解決セタル職之内申議用ニ加盟スル  
 者ヲ三分ノ二優先採用スルコト

一 優先採用者以外ニ三分ノ一解任者ノ受取ルル基準トシテ解任者當ラ二年未滿ハ四十日  
 一年ヲ増ス毎二十日々増スニトニスルコト

一 優先採用者ノ健康保険報酬日額ノ基準トシテ二年未滿ハ三十日一年ヲ増ス毎二十日  
 増トスルコト

一 新規ニ場ニ事業開始ヲ設置許可日ヨリ一月以上ニ滞リタル場合ハ新規契約賃金ノ半  
 額ヲ支拂フコト(設置許可日ヨリ一月以内ハ支拂ハサルコト)

一 事務費用取立書中ヨリ給ハ金一封ヲ贈呈スルコト  
 昭和三年三月一日